

伊原電子が小型・軽量化

デジタル線幅測定機 持ち運び可能



【名古屋】伊原電子工業（愛知県春日井市、伊藤嘉高社長、0568・81・6824）は、プリント基板の導体幅などのデジタル線幅測定機「アキュライン2」を5月中旬に発売す

る。重さ470gと、従来の卓上型よりも小型・軽量化し、持ち運び可能。測定が自動、手動など機能別に3種類ある。価格は近く決めるが、それぞれ19万8000円、36万円、50万円（いずれも消費税抜き）の見通し。電子部品や基板メーカーを中心に提案。2年後に年間200台の販売を目指す。本体サイズは縦160mm×横110mm×高さ118mm。導体幅は0

る。3・5mmのカラー液晶画面付きで、画像により確認もできる。プリント基板の線幅測定は、卓上型の高価な測定機を使うか、ルーペしかなかった。このため低価格で、コンパクトなハ

・03mm〜0・9mmまで測定可能。穴径も最大0・7mmまで測定でき

ンディタイプの子ーズがあると見込む。同測定機は当初、自社用に開発し、改良を重ねて製品化した。伊原電子工業が製造し、販売は子会社の伊原テクニク（愛知県春日井市）が行う。

無断転載・複写禁止©(株)日刊工業新聞社